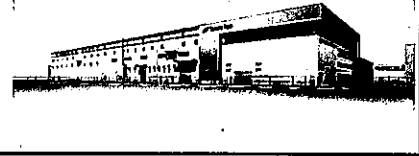


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社鶴見製作所京都工場 新工場建設工事	階数	地上3F
建設地	京都府八幡市上奈良池ノ向1の1 他29筆	構造	S造
用途地域	市街化区域、法第22条区域、下水道処理区域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2023年5月31日
敷地面積	50,266 m <sup>2</sup>	作成者	廣瀬 智之
建築面積	6,513 m <sup>2</sup>	確認日	2023年6月1日
延床面積	13,082 m <sup>2</sup>	確認者	廣瀬 智之



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	62%
③上記+②以外の	62%
④上記+	62%

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

### LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	仕上材にF☆☆☆☆を採用、LED照明の高効率設備機器を積極的に採用し、省エネルギー性能に配慮した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	仕上材にF☆☆☆☆を採用し、室内空間に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	LED照明を採用することで省エネルギー性に配慮した。	LR3 敷地外環境 LCCO2排出率62%
Q2 サービス性能	事務室の天井高2.8m以上。	
LR2 資源・マテリアル	ODP=0、GWPが低い発泡剤を用いた断熱材を採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される